



冬の気配を前に

今年の芝生の種まきは、出遅れた秋雨前線や台風の到来と重なり、生育がもう一つだったのですが、これも致し方のないこと。朝晩の冷え込み、このまま真冬に流れ込んでしまおうのか：もう少し、秋を楽しみたい：そんな思いで芝生をオープンしました。

園内のそこで、芋掘りをはじめとした、秋の味覚を楽しむ活動が点在する一方、お楽しみ会へ向け、様々な表現遊びが繰り広げられています。昨年とは、また一味違った新たな構成となりそうであることやら：でも、本番は、実は当日までのプロセス！、楽しんでいきましょう。

さて、年末に、園内の七不思議のひとつ：が存在しています。それは、なぜか、クリスマスイブでもない日時に、突然サンタが来園してくれることです。子どもたちは、目の前のプレゼントに目が眩むのか、これを素直に受け入れてしまうのですが、私たち職員は騙されません。

これは何かがおかしい：ここ数年、この謎について、みんなで頭を悩ませ続けてきた結果、ついその謎が解けたのです。「あれは、偽物だったんだ！」

私たちは本当にお人好しでした。今年からは、もう偽物の侵入は許さない、その決意して、12月24日の夜にやってくる本物のサンタだけを待つことにしました。

ただ、あいにく当日の夜は、みんなで出迎えることはできないのですが、翌朝にはきつと、プレゼントが：だとしたら、立ち寄った痕跡も何か残っているはず：それも、子どもたちと探してみたいと思っています。

今とちようど正反対の夏の時期。保護者の皆さんに、お泊まり保育を企画していただきました。せっかく園内で一夜を過ごすということで、園舎で肝試しを楽しむのが恒例となっています。

誰もいなくなった2階の暗い部屋を巡るコース。かつては、見守り役も含め、私が物陰に隠れて、どこからともなくゆっくりとボールが転がってきたり、小さな物音が聞こえたり：手持ち無沙汰に

らせて、そんな演出をしていました。

これは、脅かすというより、ん？何か変？：と不思議さを感じる程度に：そう、こだわったのは「気配」なのです。

ここ最近、多くの職員たちが参加してくれるため、お化けが登場したり、効果音が入ったりと、賑やかな？「お化け屋敷」となっています。(みんなで楽しむものと考えれば、それはそれでいいのかもしれません。)

サンタの来園でこだわっていききたいことも、実はこの「気配」を感じることに。

科学的に解明されたものが、目に見えるものだけが、その存在が認められ、「何かを感じた」くらいでは、一笑に付される今の時代。目を凝らせば見えるのかも、耳をすませば聞こえるのかも：もしかするといるのかも：そうした想いは、周りの世界を、そして毎日の生活を、情感溢れるものにしてくれる気がするのです。

そして「まだよくわからないものは、「畏れ」となって、私たちに謙虚さのようなものをもたらします。だから、五感を研ぎ澄まし、頭をフル回転させて、感じよう、知ろうとする。わかることの面

白さのその一方で、何かよくわからない

ことが、さらに毎日を豊かにしてくれる：自分を取り囲む世界のそこかしこに、そういった未知なるものが潜んでいて、その一つ一つと巡り会っていく：それが、まさに子ども時代だと思うのです。

勝手にわかった気になっっている私たち大人も、そんな謙虚さを、少しでも持ち合わせることでできれば、刺激に満ちたあの頃に：戻れるのかもしれないね。

そしてもう一つ、サンタ周辺の情報筋から、新たな情報が入ってきました！

「彼は、子どもたちそれぞれにはなく、クラスごとに、もっとビッグなプレゼントを考えているらしい。みんなのお願いを、よく相談しておいた方がいい。」私は、「みんなのお願い」という表現に引つかりました。もしかすると、これは、「モノ」である必要はないのではないか？

となると、ここからは発想力。サンタを少し困らせるようなプレゼント：お願いで：しまいましょか。

キャンドルナイトへのお誘い

世界の子どもたち、家族、動植物：地球上の仲間みんなの幸せを祈りながら、毎年、冬至の日に合わせ、子どもたちと園庭いっぱいキャンドルを灯します。

今年は12月22日(金)の夕刻を予定しております。

また、今年からはもう、偽物サンタを迎える場は持たないので、ならば、このキャンドルをバックに、みんなでクリスマスソングを歌おう！：といった企画も進行中。

冬至の夜、8時〜10時、ご家庭でも電気を消して、キャンドルの灯でスローな夜を過ごしてみたいかがでしょうか。

●編集 誠美保育園
●発行人 折井 誠司
●印刷所 誠美保育園
●発行所 社会福祉法人 誠美福祉会
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2
電話 042-675-1155
ファックス 042-677-5643
Email: seibi@nokken.jp
http://nokken.jp/